

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2018-6875(P2018-6875A)

【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2016-128028(P2016-128028)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 0 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月21日(2018.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

取得用情報 1 2 c は、情報を使用できる回数が例えば 1 回又は数回等に制限されており、制限された回数の使用後には記憶部 1 2 から消去される。取得用情報 1 2 c は、例えば車載通信装置 1 0 の製造段階などに記憶部 1 2 に書き込まれ、所定回数の使用により消去された場合には例えば車両 1 のディーラなどにて記憶部 1 2 に書き込まれる。なお記憶部 1 2 には、複数の取得用情報 1 2 c が記憶されていてもよい。例えば使用回数が 1 回のみで制限された取得用情報 1 2 c を 1 0 個記憶しておくことにより、証明書情報 1 2 b の有効期限が切れた場合の新たな証明書情報 1 2 b の取得を 1 0 回行うことが可能となる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

また本実施の形態に係るサブサーバ装置 5 2 a の処理部 6 1 には、記憶部 6 2 に記憶されたプログラムを実行することによって、証明書情報作成処理部 6 1 a 及び回答処理部 6 1 b 等がソフトウェア的な機能ブロックとして実現される。証明書情報作成処理部 6 1 a は、車載通信装置 1 0 からの依頼に応じて、証明書情報を作成する処理を行う。証明書情報作成処理部 6 1 a は、車載通信装置 1 0 から依頼と共に与えられる公開鍵、及び、記憶部 6 2 に記憶された自身の証明書情報 6 2 a 等に基づいて、車載通信装置 1 0 の証明書情報を作成する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

回答処理部 6 1 b は、車載通信装置 1 0 からの問い合わせに応じて、作成を依頼された証明書情報の作成状況を回答する処理を行う。回答処理部 6 1 b は、証明書情報の作成が完了したか否かを示す情報を、問い合わせ元の車載通信装置 1 0 へ送信することにより回答を

行う。なお、回答処理部 6 1 b は、証明書情報の作成が完了していない場合、その旨を回答すると共に、例えば作成が完了する予定日時などの情報を車載通信装置 1 0 へ送信してもよい。また回答処理部 6 1 b は、証明書情報の作成が完了している場合、その旨を回答すると共に、作成済みの証明書情報を車載通信装置 1 0 へ送信する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 1】

ステップ S 6 3 又は S 6 4 にて行った正否判定処理に基づき、処理部 1 1 は、受信した問合わせが正当な問合わせであるか否かを判定する（ステップ S 6 5）。正当な問合わせでない場合（S 6 5：NO）、処理部 1 1 は、処理を終了する。正当な問合わせである場合（S 6 5：YES）、処理部 1 1 の回答処理部 6 1 b は、問合わせに係る証明書情報の作成状況を確認し（ステップ S 6 6）、この証明書情報の作成が完了しているか否かを判定する（ステップ S 6 7）。問合わせに係る証明書情報の作成が完了していない場合（S 6 7：NO）、回答処理部 6 1 b は、証明書情報の作成が未完了である旨の回答を問合わせ元の車載通信装置 1 0 に対して送信し（ステップ S 6 8）、処理を終了する。証明書情報の作成が完了している場合（S 6 7：YES）、回答処理部 6 1 b は、証明書情報の作成が完了している旨の回答と作成済みの証明書情報とを、問合わせ元の車載通信装置 1 0 に対して送信し（ステップ S 6 9）、処理を終了する。